

年	組	名前
---	---	----

ウォーキングコース「九州オルレ」

朝地～竹田中心部の12キロ



田園風景を撮影する韓国のテレビ取材班＝豊後大野市朝地町

人気高い奥豊後

九州観光推進機構（福岡市）が選ぶウォーキングコース「九州オルレ」に昨年認定された4コースのうち、豊後大野市朝地町と竹田市中心部を結ぶ「奥豊後コース」が最も人気を集めている。同機構の調査では、昨年3月からの1年間に同コースを歩いた人は約5230人。うち韓国人が約3510人と7割ほどを占めている。韓国人も共感できる農村風景が好評のようだ。

韓国人に風景好評

奥豊後コースはJR朝地駅から用件公園や普光寺、番組の取材班が「癒やし」岡城跡などを経由し、JR竹田駅まで歩く約12キロのコース。朝地町の田園風景や山道を満喫した後、竹田市の城下町の散策や温泉を菜しめる。所要時間は約6時間。同機構の調査では、奥豊後に次いで人気なのは武雄コース（佐賀県・約5170人）。続いて指宿開国コース（鹿児島県・約1740人）、天草維和島コース（熊本県・約1160人）となっている。奥豊後と並ぶ人気の武雄は、韓国人訪問者数が約2760人で全体のほぼ半数。奥豊後は、特に韓国人に注目されていることが分かる。

ポイント 九州オルレは韓国・九州島の方言で「家に帰る細い道」の意味。ウォーキングが盛んな韓国で人気の「九州オルレ」を九州観光推進機構が取り入れた。舗装路を舗装し、地域の息遣いを感じる道をコンセプトに選ばれた。今年も高崎県の馬千穂コースなどが認定され、現在計8コースがある。

このほど、韓国のテレビ番組の取材班が「癒やし」をテーマにしたドキュメンタリー番組の撮影に訪れた。番組ディレクターの張株誠さん（46）は「奥豊後コースは特に評判が良い。韓国にも似た自然の風景があり、違和感なく過ごすことができるので癒やされるか」と話した。

豊後大野市、竹田両市でつくる同コース推進協議会（会長・橋本祐輔豊後大野市長）によると、韓国人は大半が旅行会社のツアー客だが、中には個人や友達、恋人同士で歩く人もいるという。年齢層は若者から高齢者まで幅広く、季節を問わず訪れている。

同協議会は「コースのPRに加え、旅行者に旅行商品の提案なども今後していきたい」と話している。

「九州オルレ」認定コースで、豊後大野市朝地町と竹田市中心部を結ぶ「奥豊後コース」が人気です。

(2013年7月3日朝刊18面)

①「オルレ」とは、どういったものでしょう。

.....

.....

.....

.....

②奥豊後コースを歩いた人のうち、7割ほどは韓国人でした。人気の理由は何でしょう。

.....

.....

.....

.....

③自分たちの地域で、「オルレ」のコースを考えてみよう。

.....

.....

.....

.....